

地質ニュース

昭和 45 年 12 月

第 196 号

1970

解 説	IMA-IAGOD Meetings '70	砂 川 一 郎	1
トピックス	ボーリング孔からのグラウティングの話	野 河 日 英 勝 幸	12
	顕微鏡下の岩石 ⑫ ~花こう岩 その2~	山 田 直 利 片 田 正 井 義 人 郎	19
	関東地方南部のサイズシシティと最近の地殻変動 および速度の変化の予備的考察 ~地震予知をめざして ③	飯 塚 進	24
講 座	地学環境の遠隔探知 赤外線地学への応用について ②	長 谷 紘 和	30
	高温高圧のはなし ④	針 谷 宥	39
	層位学 ~総論その1~	福 田 理	49
	国際地質年代学会議	柴 田 賢	54
	地学と切手	P.Q.	48
	学会掲示板		11
	地質ニュース総目次 1970年 (No.185~No.196)		65

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

方解石の双晶

秋田県荒川鉱山産 和田標本 ×1.7

方解石の美しい結晶の産地は多い。産状も広い範囲にわたっている。黄鉄鉱や水晶とともにもっとも普遍的に産出する鉱物種の一つである。結晶の外形も方解石ほど変化に富んでいる鉱物は他に例をみない。薄板状 板状 短柱状 長柱状 釘頭状 犬牙状 樽状などとまさに千変万化の外形をとる。外形の変化は晶出温度や不純物によって支配されているようで 1つの産地内でも早期晶出から晩期晶出へと系統的な変化を示している。表紙に示した標本は 荒川鉱山にかけて産出したもので 単結晶はもと(6・5・11・1)という指数の面を主とした犬牙状の結晶であるが、これが(0112)面を双晶面として双晶すると 写真中央やや上と下にみられるように蝶々のような板状の大型の結晶になる。水晶の日本式双晶の場合と原理は同じである。この標本は 双晶と単結晶が共存し 両者の関係(形や大きさ)をはっきりしめしてくれる珍しい標本で 和田標本中のものである。

(文 砂川一郎 写真 正井義郎)

発 行 株式会社 実業公報社